

令和4年度 10月号

めいか

令和4年9月30日

文京区立明化幼稚園

今ある環境を工夫して

副園長 池田 克子

さわやかな秋の風が心地よい季節となりました。子どもたちは、園庭でオシロイバナの花を使って色水作りをしたり、草むらでバッタを捕まえたり、秋の自然と触れ合いながら遊びを楽しんでいます。

明化幼稚園は、現在、改築工事を行っているため、今は以前のように広い園庭で遊ぶことができません。園内のホールや屋上を活用したり、明化小学校のピロティや体育館、第十中学校の校庭などをお借りしたりしながら、運動遊びや様々な活動を行っています。来年の夏頃に新しい園舎に引っ越しをしますが、園庭の完成にはまだ数年かかる予定です。

園庭が狭く、固定遊具の少ない状況での保育の中で、子どもたちが体を動かす機会を作り、運動する楽しさを感じられるよう、今年度「自分から体を動かすことを楽しむ幼児を育てる。～多様な動きを引き出す環境・指導の工夫～」をテーマに、園内研究を進めています。発達を踏まえ、生活や遊びの中で幼児の多様な動きを引き出したり、経験したりできる活動を日々の保育の中に取り入れています。年長組は、巧技台とはしごを組み合わせてホールにうんていを作りました。今までは、上を渡るはしごとして使用していた遊具がうんていに変身し、子どもたちは喜んでぶら下がったり、渡ったりして楽しみました。年中組は、いろいろな動物に変身して遊びました。イヌ（四つん這いで歩く）→ウサギ（ジャンプ）→クマ（手足を伸ばして高這いで歩く）→カニ（横歩き）→アシカ（腕のみで這う）→クモ（仰向けで腰を上げて歩く、などの活動を通して、楽しみながら様々な体の動きを経験しました。年少組は、遊びの中で巧技台などを取り入れ、ジャンプやトンネルくぐりなどを楽しんだり、小学校のピロティで走ったり三輪車に乗ったりしています。これからも、今ある園内の環境や遊具を生かして、幼児が「やってみたい」と意欲をもって自分から環境に関わり体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるよう、環境や指導方法を工夫し、運動遊びの充実を図っていききたいと思います。

今子どもたちは、運動会に向けての取り組みを通して、体を動かすことの楽しさや心地よさを感じています。運動会後もその経験を遊びの中で繰り返し楽しんだり、他学年の競技や演技を真似したりしながら、引き続き体を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにしていきたいと思っています。



巧技台のはしご（年少組）



クモ歩き（年中組）



巧技台のうんてい（年長組）